

| 科 目 名 | プレゼミナールⅣ | 備 考 |
|-------|----------|-----|
| 単 位 数 | 2 単位     |     |

## 杜 正 文

### 情報検索からデータ整理とデータベースの作成

#### 1. 講義内容

インターネットの発展はめざましく生活の隅々までに入り込んでいる。そもそもインターネットを普及させた要因の1つとしては、ネット上に存在している様々なデータベースが取り上げられている。本ゼミは、表計算の関数機能の学習とデータ分析技法の演習を通して様々なデータ活用法を習得する。また、データベース機能の学習とデータベースの演習を通してデータベースの基本を理解する。

#### 2. 到達目標

本ゼミでは、表計算の演習を通して、様々な表計算関数の意味・役割を理解し、データ処理・分析技法を身に付けることを期待する。また、様々な事例の分析を通して、情報処理能力、分析力及び企画力を身に付けることを目標としている。

#### 3. 関連科目

情報処理概論、コンピュータ・リテラシーⅠ・Ⅱ、情報検索論、情報関連科目等

#### 4. テキスト・参考書等

必要に応じて授業中に資料を配布する。

【参】富士通エフ・オー・エム『よくわかる Microsoft Excel 2013 基礎』FOM 出版

【参】富士通エフ・オー・エム『よくわかる Microsoft Excel 2013 応用』FOM 出版

【参】富士通エフ・オー・エム『よくわかる Microsoft Excel 2013 ドリル』FOM 出版

【参】富士通エフ・オー・エム『よくわかる Microsoft Excel 2013 演習問題集』FOM 出版

【参】富士通エフ・オー・エム『よくわかるマスター MCAS Excel 2010 完全マスターⅠ 公認テキスト』FOM 出版

【参】間久保恭子『Microsoft Office Specialist 攻略問題集 Microsoft Office Excel 2007 [新装版]』日経 BP 社

#### 5. 授業外における学習方法

授業前に参考図書に関連ページを読んでおくこと。また、外部サイトから提供された教材を活用し、授業内容の理解度を高める。

#### 6. 成績評価方法

データベースの演習においては、授業の連続性があるので、欠席は禁物である。成績評価は、課題提出（30%）、実習態度（30%）およびレポート（40%）によるものとする。ただし、授業開始 15 分後の入室は欠席と見なし、出席不良者（4 回以上欠席）には単位を認めない。

| 授 業 計 画 |           |        |             |
|---------|-----------|--------|-------------|
| 第 1 回   | 表計算の仕組み   | 第 9 回  | 数学／三角       |
| 第 2 回   | ワークシートの作成 | 第 10 回 | 統計／情報       |
| 第 3 回   | 四則演算      | 第 11 回 | データ集計       |
| 第 4 回   | 財務関数      | 第 12 回 | データ分析       |
| 第 5 回   | 論理関数      | 第 13 回 | データベース機能の活用 |
| 第 6 回   | 文字列操作     | 第 14 回 | ピボットテーブルの活用 |
| 第 7 回   | 日付／時刻関数   | 第 15 回 | 制作物の発表      |
| 第 8 回   | 検索／行列     |        |             |